

都道府県版健康日本 21 のレビューによる目標値分析

1. 目的と方法

2001 年より「21 世紀における国民健康づくり運動(健康日本 21)」2010 年を目標達成の最終年度として設定し開始された。この運動は、「21 世紀の我が国を、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会とするため、壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸及び生活の質の向上を実現することを」目的としており、この理念を実現するために都道府県、市町村において具体的な計画が策定されている。

本稿の目的は、現行の都道府県版「健康日本 21」計画を分析することで、国計画と都道府県計画、あるいは各都道府県計画を比較することによりそれぞれの差異や特徴を明らかにすることである。特にここでは、目標値に焦点をあて各計画の特色や傾向などを明らかにしたいと考えている。現行の国および全都道府県の健康日本 21 計画の計画書をウェブサイトから、または冊子自体を入手し目標値を表にとりまとめ分析を行った。(なお、新潟県については領域の設定はされているものの具体的な目標は記述的であり、目標値の設定はない。また、島根県では県版の健康日本 21 の計画書はなく、保健医療計画の中でいくつかの項目で目標値を挙げているのみであるため、ウェブサイト⁴で公開されている目標値一覧を基に分析に用いた。)

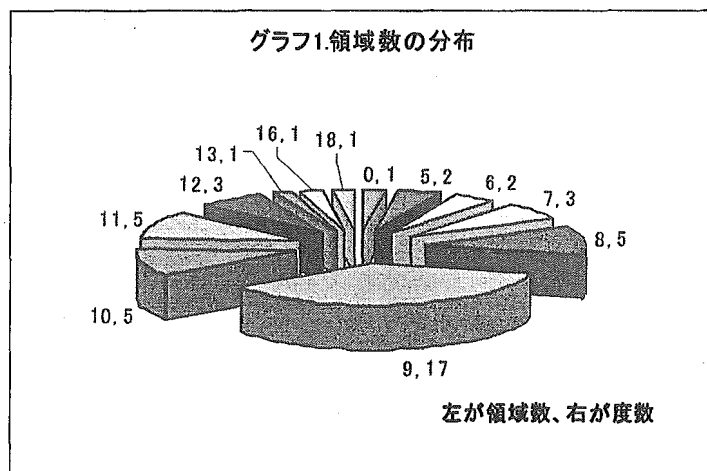
2. 結果

i) 領域

国計画は総論及び、各論からなり各論の中で取り組むべき対象領域を設定し、それぞれの領域ごとに目標と目標値を明記している。国計画では、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「休養・こころの健康づくり」「たばこ」「アルコール」「糖尿病」「循環器病」「がん」の 9 領域から構成されている。

都道府県レベルで設定されている領域について、領域数の観点から見てみよう(グラフ 1)。

最も多いのは国と同じく 9 領域を設定した都道府県であった(17 都道府県)。続いて多いのは、9、10、11 の領域数(5 都道府県)である。9 領域を設定していたところは、香川県を除いて名称や取りあげる順番に多少の違いは見られるが国の計画と全く同じ領域設定をしていた。最も領域数を多く設定し



最も領域数を多く設定し